

瀋陽駐在員事務所



全国運動会に向け整備された
新型バス

五輪が終わっても活気が続く瀋陽

ロンドン五輪が終了しました。日本勢は過去最高のメダル数獲得と大いに盛り上がったのではないのでしょうか。日本に負けないぐらい、ここ中国でも連日連夜メダル獲得のニュースが流れ、市民は4年に一度の大会を楽しみました。今大会における中国選手のメダル獲得数は、金メダル38個、前回北京大会の51個には、及ばなかったものの、一位米国(46個)とはわずかに、8個の差になるなど、経済大国のみならずスポーツ大国としての地位を世界に知らしめた大会となったことは間違いありません。

当地瀋陽では、来年の全国運動会(日本の国体に相当)に向け、インフラ整備が一層活発化してきました。瀋陽市を南北に貫くメイン通りである青年大街の両側は、「金廊(ゴールデンロード)」と呼ばれ、その両側の古い建物は全て壊され、現在は更地となり新しい建物が建つのを待っています。

今後、大きく発展を遂げる市の南側に位置する「新渾南新区」は、新たに、路面電車の建設が発表され、交通の便が大きく増すこととなります。また、全国運動会に向けた各施設もそれぞれ着工式を済ませ、基礎工事が順調に進んでおります。一方で、市民からは、「もっと他に整備して欲しい所がたくさんある」という反発の声も。様々な矛盾を抱えながらも、それを飲み込みながら大きく前進していく瀋陽の経済発展にまだまだ目が離せません。

渋川 隆彦

(財)日中経済協会北京事務所 札幌経済交流室



2012年7月21日 北京市内

招雨的人来北京！！ ～雨男が北京に来た！！

この度、(財)日中経済協会北京事務所(札幌経済交流室)に赴任(出向)致しました佐藤孝太郎と申します。北海道民・北海道企業のために中国で何が出来るのかを日々考え、微力ながら、北海道経済の活性化のために一翼を担って行ければと考えております。

さて、小職が北京に着任しました7月21日は、61年ぶり(観測至上最大)の豪雨となり、死者77人、7万人以上が避難する大変な大雨の日でした。小職が北京に着いた途端、昼間にも関わらず真っ暗になり、「なかなかの歓迎っぷりだなあ」と思うや否や大雨となり、明朝まで弱まる事はありませんでした。それ以降も、毎日雨が降り続き、おかげで、関係各所への挨拶回りの際に、赴任日を伝えると、決まってこの話題となり、それからは「招雨的人(雨を招く人=雨男)」と呼ばれるようになってしまいました。

どちらかと言うと、小職も被害者なのですが、「この雨は私が連れてきました。申し訳御座いません。」と謝らなければいけない日々が続いております。早く雨が解決してくれる事を祈りながら、慣れない業務に奮闘する毎日です。

佐藤 孝太郎

ユジノサハリンスク駐在員事務所



牡蠣の絨毯



ブッセ湖の牡蠣

サハリン観光名所めぐり……ブッセ湖

この日曜日、サハリンを南下すること車で2時間余り、当地では誰もが知っている夏の観光名所“ブッセ湖”へ行ってきました。日本人はここを“牡蠣島”と呼んでいます。

ここには干潮時現われる中州があり、まさしく牡蠣の絨毯です（写真上段～当日は干潮の一手前でした）。かつて日本人が養殖していたものが放置され、そのまま現在に至ったとされています。偶然、ポケットにレモンが入っていたので、殻を割って味見をすると、身も大きく、味も濃く最高でした。

他にも、ツブ、ナマコ、ウニ（この時期はもうダメです。6月が旬です。）、ホタテ、アサリなどが豊富に取ることが出来ます。まさしく“ブッセ”は『貝類の宝石箱や～』です。

また、ここはキャンプ場としても有名で、その日も前日からの泊まり客（家族連れ）も多く、釣った鮭・マス（今が旬）でスープ（ロシア語：ウーハ～三平汁に似ている）やバーベキューをして楽しんでいました。とにかくロシア人は週末、家でじっとしている事が嫌いなようです。

三上 訓人